

購買係の一年に一度の一大行事である種駒等の一斉注文の時期が、今年も始まります。原油代の高騰などの影響を受け、今年は原木の値上げに続き、種駒までが値上げと、あまりいい話が無いのは残念なところですが、しかし、毎年この注文を楽しみにしていました。と言つて下さる方の為に、窓口でよく耳にする質問にちょっと触れてみたいと思います。

組合で販売している原木はナラの木が主流ですが、その他にもきのこの駒打ちに利用されています。ご自分の山で原木を伐り出したのですが、コナラ等に混ざつてクリ等が生えていたがそれだけ放置するのもつたないので、打ち込めば生えてくることは無いのか?という事の様です。この菌と打ち込む原木には相性があり、どんな木でも打ち込めばきのこが出てくるわけではないようで、毎年、そのようなお客さまとは、下記のような種菌メーカーの適合表を見て一緒に検討しています。

原木適合表	しいたけ	なめこ	くりたけ	ひらたけ
コナラ	◎	○	◎	
ミズナラ	○	○	○	
クヌギ	◎		○	
クリ	△	△	○	
クルミ類		○	○	○
ケヤキ		○	△	○
エノキ		○	○	○
サクランボ類	△	○	○	○
りんご	△	○	○	
カキ	△			○
カラマツ	△	○		

◎は最適。○は適。△はやや適。よく耳にする樹種以外にも身近にある樹種もあり、たとえば、カラマツで出たナメコは味が濃いなどと言う人も居たりします。ここには、窓口で聞かれた樹種を主に乗せてみましたが、この種類が適合する場合もあり、お客様との会話を通じて、毎年原木栽培の奥深さを感じます。東日本大震災以後、日本国内では原木不足により、しいたけ生産者の方はどんどん減る一方と聞きます。原木伐採からきのこ栽培にチャレンジしてみてはどうでしょう?

## 役員管内視察研修

見聞広がる秋

11月14日(金)に役員12名に職員4名が同行し、組合管内4ヶ所の現場の視察研修が行われました。

最初に安曇野市にある株式会社工ア・ウォーター農園トマト工場を視察。現在この工場では大規模ガラスハウスにて1年を通じトマトを生産しています。

中東から主に輸入されたLPガスを暖房等に使用していますが、この化石燃料による輸入エネルギーを、木質バイオマスエネルギーへと転換する計画の事業概要等について説明をしました。

次に当組合の筑北支所へ向かい、小径木加工場の丸太加工施設並びに、今年度木質ペレット保管用倉庫として、コンクリート打設工事により整備

## まつもと広域

第13号

発行 平成26年12月11日  
松本広域森林組合

JForest

最後に塩尻市片丘地区で進めていた信州F・POWERプロジェクトによる征矢野建材株式会社の木材加工事業とバイオマス発電事業地の施設工事進捗状況等について説明をしていただきました。

今回の研修は、地域材の有効利用推進を図るうえで間伐材、未利用木材並びによる松枯れ材の供給先として期待をし、林業サイクルの構築を図る起爆剤になればと思っています。(更新)

次に当組合の筑北支所へ向かい、小径木加工場の丸太加工施設並びに、今年度木質ペレット保管用倉庫として、コンクリート打設工事により整備

## 職員視察研修

見聞広がる秋

11月6日、7日と1泊2日で木質バイオマス発電所の運営状況と木材流通について、職員視察研修を実施しました。

初日は、岐阜県白河町の東濃ひのき製品流通協同組合における、木質バイオマス発電に係る木材調達等の運営内容についての研修をしました。

当組合管内でも計画されている、木質バイオマス発電事業に関する木材需要側と供給側の問題点等について、お聞きする事ができました。2日目は愛知県大口町河北の株式会社東海木材相互市場大口市場を視察しました。

当日は市売りの開催日で、こちらの市とは違うセリによる活気ある市を見ることが出来ました。また、現状の木材価格の動向についても市売査ができ、良い研修となりました。

## お詫びと訂正

☆総務課より☆

前回の広報第12号1面の「退任理事」のお名前の漢字が間違つておりました。たいへん失礼をいたしました。正しくは尾関 稔(正)理事です。訂正をお詫び申し上げます。

日々頃より組合運営に御協力をいただき、誠にありがとうございます。毎回広報発送に合わせ、組合員の名義・住所等変更のご連絡をいたしました。正しくは尾関 稔(誤)→尾崎 稔(正)理事です。訂正をお詫び申し上げます。

組合からのお知らせ

☆購買係より☆

平成27年度の苗木・種駒の注文書を同封いたしました。燃料代の高騰・原木不足など、やむを得ずの値上げがありますが、昨年同様にご注文をおまちしております。

購買係 0263(77)2413

第948回 市売り市況表  
(平成26年12月10日実施)

JForest

樹種	長さ(cm)	規格	末口(cm)	安値(円/m <sup>3</sup> )	高値(円/m <sup>3</sup> )	中値(円/m <sup>3</sup> )	気配	備考
すき	3.0~4.0	直	14~18	2,500	12,000	7,000	-	3.0m×14~18cm柱取り引合いあります。 20cm上に4.0m造材して下さい。
あかまつ	4.0	直	20~44	2,500	22,000	10,000	-	需要あります。伐採予定の方、ご連絡下さい。
からまつ	5.0~8.0	込	30~40	2,500	28,000	13,000	-	標準活用。良材に高値。
ひのき	4.0	元	58		51,100		○	
くわ	4.0	直	6~13	2,500	10,000	8,000	-	
カバ	5.0	直	14~18	2,500	13,500	8,000	-	
けやき	4.0	直	20~38	11,000	16,000	12,500	-	
けやき	4.0	直	20上	2,500	11,000	7,000	-	
ひのき	3.0	直	16~24	7,500	25,000	13,000	-	
ひのき	4.0	直	20~34	7,500	30,000	15,000	-	柱・土台取り扱込み。
ひのき	4.0	元	38上	30,000	71,000	60,000	○	
くわ	4.0	込	34~44	2,500	45,000	15,000	○	
カバ	4.0	込	24~44	2,500	42,000	15,000	○	
けやき	3.8	一本切り	58		62,000		-	
けやき	5.0	一本切り	66		65,500		-	

出品量 2,166 m<sup>3</sup> 販売量 2,142 m<sup>3</sup> 落札率 99% 買い方 51社

本年は初めて6万m<sup>3</sup>以上の木本を取り扱うことができました。これもひとえに出品いただきたい皆様のおかげであります。当センター職員一同心より厚く感謝御礼申し上げます。市況はまだまだ好調とは言えませんが、来年も更なる期待を込めた有利販売に努めたいと思います。引き続きたくお問い合わせください。

協同組合がよりよい社会を築きます

新春☆初市は1月7日(水)

規格小さめの原木を格安にて販売します♪

限定

の原木です。細い分軽いので小さいお子様と駒打ち作業を樂しみたい方や初心者の方にお勧めです。

限定300本のみ  
230円(税別)

お問い合わせは  
購買係: 0263-64-3300まで

**筑北支所裏 “藤池団地”**

**施業前** → **施業後**

**更新伐とは…**  
【更新の目的】  
人工林における育成複層林の造成及び育成  
広葉樹林化の促進  
天然林の質的・構造的な改善  
(松くい虫被害林の整備・樹種転換)  
【内 容】  
不用木の除去・淘汰  
支障木・あばれ木等の伐倒・搬出・集積

**【対象森林】**  
林齢 90 年生以下の人工林・天然林  
**【伐採率】**  
人工林 30 ~ 50%以下  
天然林 70 ~ 100%未満  
**【采 件】**  
実施した翌年度から 2 年以内に更新  
されない場合は植栽による更新を行なう。  
森林経営計画地 +10 m<sup>3</sup>/ha 以上の搬出

12月の状況としては、藤池地区の方々が獣害防止策の設置を行なう為、設置ルート地の伐採を優先的に行つてきましたが、地質が粘土質の為、雨による影響で作業道がぬかるみ施業の遅れがでるなど、地域の方々にはご迷惑をかける事もありました。しかしながら今は、地区代表者の方との作業工程の打ち合わせなど、地域の方の御理解・御協力をえて無事に完了する事が出来そうです。

その他、四賀板場地区においても、個人有林を含む松林の更新伐業に向け集約化が進んでおり、約 5 ha の施業が予定されています。

松くい虫被害を食い止める為に、地域の方々や松本市など関係者の方々と連携を取りながら、今後も施業を進めます。

今後の更新伐事業他支所の予定

あづみ支所 有明地区  
松 本支所 岡田地区  
他

なお、木質バイオマス発電は、平成28年度に稼働の予定です。

長野県森林づくり県民税について。

長野県森林づくり  
県民税（森林税）について、ご理解とご協力を頂き御礼申し上げます。

森林税を活用した事業が松本管内の各地でも実施されていますが、今回は、「平成26年度信州の木活用モデル地域支援事業」を紹介します。

同事業は、地域が主体となり里山の森林資源を活用する先進的なモデル地域を支援する事業で、塩尻市では林業再生を進めの一環として「山のお宝ステーション」事業として推進しています。実施状況は次のとおりです。9月27日に塩尻市片丘の薪ストーションに、間伐材を乗せたトラックが並び、一台ずつ重量を計測した後荷卸しされました。この日運び込まれた材は、合計で13トンとなりました。対象樹種は針葉樹で、買取価格は1トン五千七百円です。

参加者からは「汗をかいて、間伐すれば、山がきれいになつていい。」「これまで山に捨て